

事務所長からのメッセージ

- 道北地域の景気は、やや弱めの動きが続いています。6月10日に発表しました「[金融経済概況（道北地区）](#)」では、基調判断は据え置きましたが、今月もいくつか特徴的な動きがありますので、ご紹介したいと思います。
- 一つ目は、普通合板の生産・出荷が好調で、特に道外向け出荷が年初来大幅に伸びています。この背景には、本州における住宅需要の回復があるようです。海外産の針葉樹が種々の理由から割高となり、道産針葉樹に切り替わる動きもあるようです。
- 二つ目は、道北主要4市（旭川、北見、稚内、網走）内の建築確認申請（床面積）が、前年との対比でみて大幅な増加となりました。建築関係は、昨年来、厳しい状況が続いてきましたが、需要期を迎え、漸く明るさが差してきたように思います。今後も継続した動きに繋がるかどうか注目したいと思います。
- 三つ目は、道北地域の空港利用客数が増加に転じたことです。旭川、稚内、紋別空港では前年との対比で大幅な増加となりました。これから夏の観光シーズンになりますので、北の大地の醍醐味を是非多くの方に堪能して頂きたいと思います。
- 6月26日（木）に、旭川市における金融経済懇談会に出席のため日本銀行審議委員の中村清次が参ることになりました。地元の方々との率直な意見交換を通じて、懇談会の実をあげることができればと思います。
- 去る、5月31日と6月1日、旭川市内で開かれた「あさひかわ消費生活展 2008」に参加しました。展示ブースを設け、安心して使えるお金の重要性、金融知識普及の重要性を市民の方々に訴えました。1億円相当の模擬パック、銀行券の裁断屑など、皆さん興味津々でした。その模様は左下の写真をご覧ください。

平成 20 年 6 月 10 日

尾家 啓之